

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市向陽台児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 39,124人 (前年度比 120.3%) 平成28年度 32,531人 平成27年度 25,316人 平成26年度 23,721人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 40,962千円 (30,441千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、管理運営団体が作成した「オリエンテーションブック」を用いて職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。また、管理運営団体作成の「保健・安全マニュアル」に加え、児童館独自の「事故・けがの防止マニュアル」も作成し、事故防止に努めている。	S
III 施設・設備の維持管理	日常及び定期的な7点検、清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理体制も明確になっているほか、仙台市環境行動計画に則った取り組みも行われており、利用しやすい安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども自身が様々な遊びの中から自由に遊びを選択できるよう、毎月異なった遊びを行う「あそびのポケット」を実施し、遊びの充実を図っている。また、七夕飾り作りや餅つき、地域探検などは、地域住民との交流の場となり、地域を知る機会となっている。3年目を迎えた「地域かるた」の作成は、読み句は小学生も含めた地域から応募してもらい、絵札は中学生に依頼するなど、地域全体に広がる活動となっており、子どもたちが地域に目を向けるきっかけにもなっている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>“魅力的な活動とたくさんのお会いがある児童館”を目指して、一人ひとりの利用者との関係を大切に、利用者のニーズを踏まえた活動、地域の協力を得た魅力的な企画を念頭に運営して参りました。</p> <p>乳幼児親子事業では、あかちゃんの利用促進を図ると共に、安心できる雰囲気作り、環境作りに配慮することで、母親同士の交流を深め、日常的な利用につながることができました。その他の定例行事や幼児クラブも好評で、地域の親子の居場所としていつでも安心して来ていただける雰囲気ができています。また「ママのハッピープラン」では子育て中のママたちが2つの行事を企画、実現し、利用者からも好評を得ました。ママたちが協力し活動を楽しめる場となっています。</p> <p>小学生事業では、日常遊びの充実を目的に「あそびのポケット」や「移動児童館」を実施し、高学年や遠隔地の小学生にも活動をPRすることができました。またダンス活動では、目標に向け意欲的に活動に取り組むサポートができました。その他、子育て支援クラブ等地域の協力を得た幅広い活動、高齢者施設への訪問交流の機会も増やしたり、将棋ボランティア等、地域の協力者の開拓を推進したりして、活動の充実を図りました。様々な遊びや活動を通して異年齢、異世代が交流し、毎日が活気にあふれています。</p> <p>中学生については、中学生が利用しやすい環境作りを行うとともに、ボランティアやスタッフ活動を支援してきました。乳幼児や小学生との関わり、地域の様々な年代のスタッフとの活動等、貴重な社会経験の場を多く提供することができました。</p> <p>2年目の「地域カルタ作り」では、読み句募集に幅広い年代から多くの応募があり、採用された13作品について、中学校美術部に絵札制作を、地域の方に読み札制作を依頼しました。地域の様々な人たちが関わって制作が進められています。</p> <p>地域の協力のおかげで、充実した活動を提供することができたと考えております。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>登録制の幼児クラブや自由参加の年齢別の行事のほか、ランチやカフェの時間の設定もあり、乳幼児親子が気軽に利用しやすい環境になっていることから、利用者も増加している。また、母親たちの自主企画行事の支援、関係機関と連携した育児相談、子育て講座、妊娠期の母親への児童館利用案内など、多様な方法で子育て家庭支援の充実に取り組んでいる。</p> <p>また、児童館から離れた赤石南地区や授業参観時の学校での出前児童館実施は、児童館の認知度を高め、利用促進につながっている。</p> <p>さらに、地域資源を活かした「洞雲寺探検」、「ホテル観察会」、「相撲」等の行事をおやじの会や体育振興会等との共催で実施しているほか、地域にある福祉施設訪問での高齢者との交流や日常の遊びで小学生と中学生が一緒に遊ぶ機会を設けるなど、世代間交流や異年齢交流にも取り組んでおり、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室